

## 令和6年度 八幡小学校に関するアンケート（前期）結果 及びアクションプランの進捗状況について

富山市立八幡小学校  
校長 高島 恭子

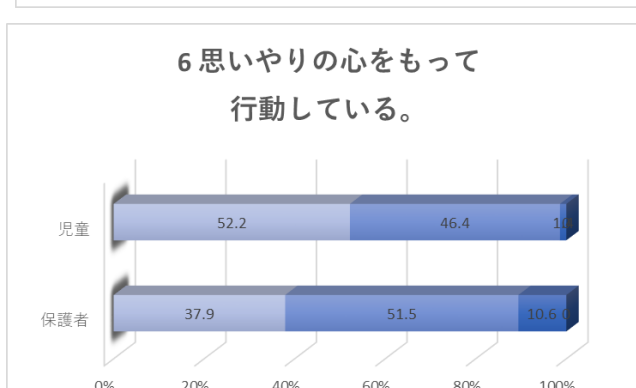
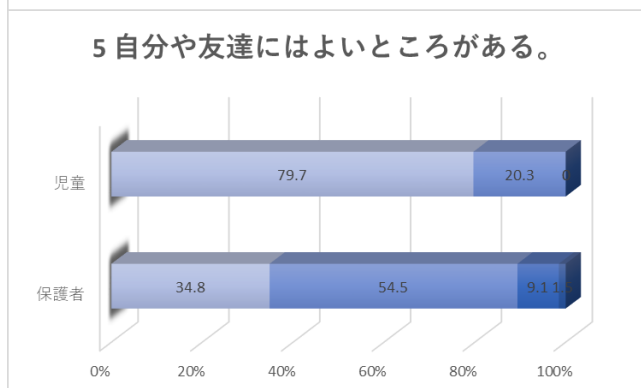
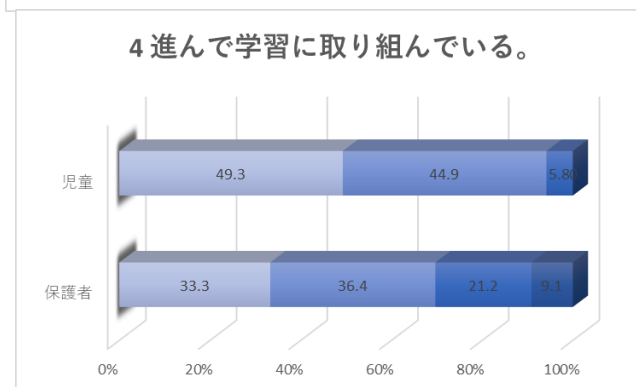
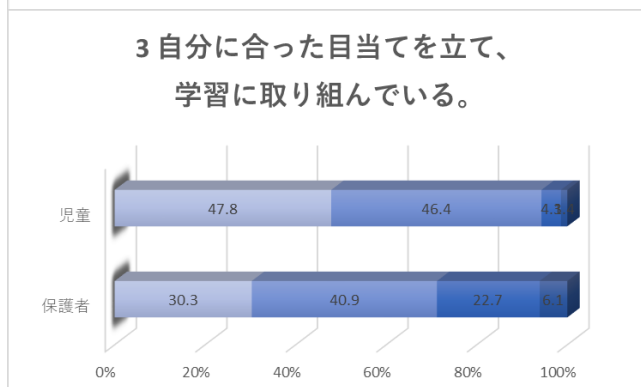
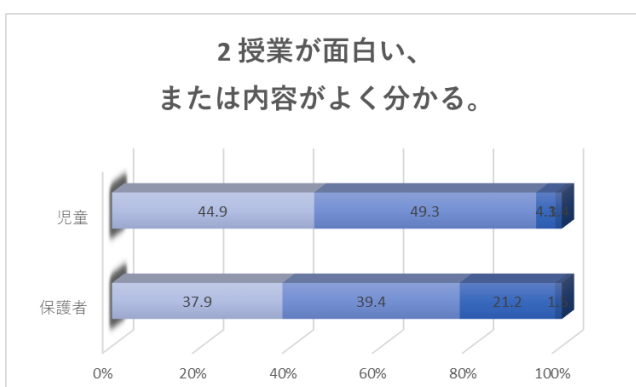
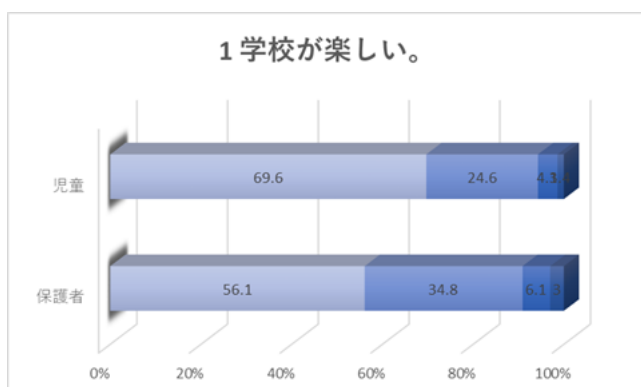
日頃より、本校の教育活動の推進に温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

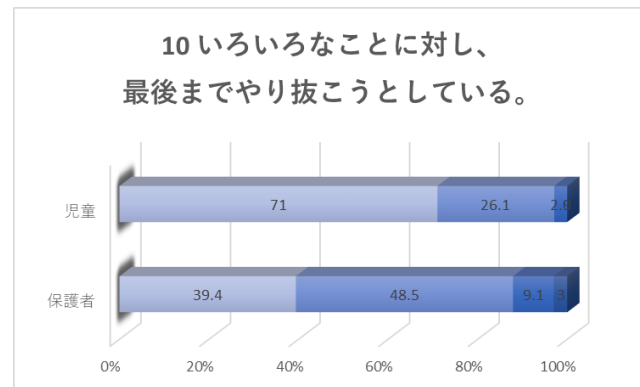
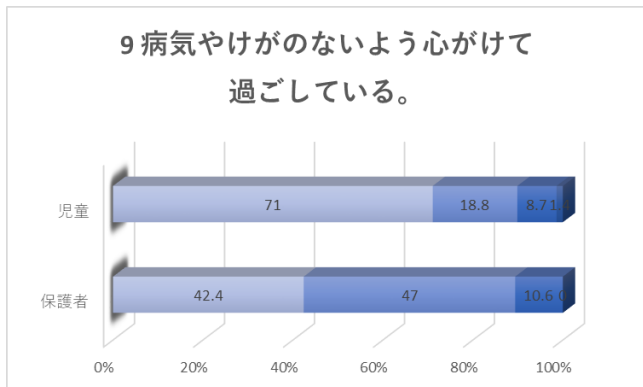
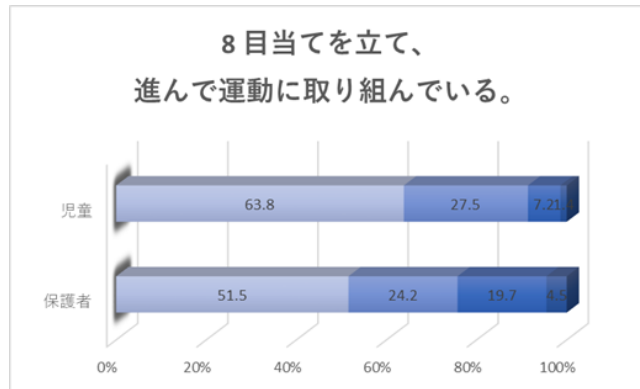
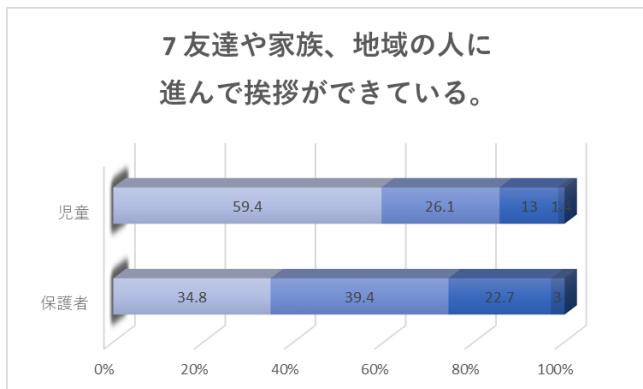
さて、保護者の皆様におかれましては、7月中旬に「八幡小学校に関するアンケート（前期）」にフォーム回答していただき、ありがとうございます。おかげさまで、ご家庭や学校行事の場におけるお子さんの様子や学校の体制について、忌憚のない評価とご意見を頂くことができました。

つきましては、本校のアクションプランの進捗状況と併せて考察しましたので、ご覧ください。アンケートについては同じ質問項目で児童が回答した結果も、並べて示しています。

### 1 八幡小学校に関するアンケート（前期）の結果について ※上段が児童、下段が保護者の回答

■ よく当てはまる ■ だいたい当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ 全く当てはまらない





## 2 アクションプランの進捗状況について

### <よく考える子>

独自課題	国語科・算数科の学期末テストにおいて、各自が立てた点数を達成する割合を90%以上とする。
向上目標	自分のつまずきに気づき、自ら方策を考えて学習に取り組もうとする児童を増やす。

進捗状況	国語科	算数科
	53.7%	52.2%

【結果】1学期は、国語科・算数科ともに達成しませんでした。

【アンケート結果を踏まえた考察 及び 今後の取組】※関連する質問項目：2、3、4

昨年度の目標「国語科・算数科の単元末テストで、知識・技能面の点数が各学年の担任が設定した目標値を超える児童の割合が75%以上とする」は、個人の学力差に対応しづらく、特に学習に苦手意識をもつ児童の成長を反映しにくいものであるという反省がありました。そこで今年度は、各自で目標値を設定することで、自分の力や課題を見極め、計画を立てて取り組む姿を育てたいと考えました。

結果は、国語科も算数科も達成率が50%台となり、目標を大幅に下回りました。また、学年間で、達成率に大きな差が生じました。これは、テストの目標点数を決めるという経験が初めてであったため、特に下学年において、適正な値を設定することが難しかったのではないかと考えられます。

一方、アンケート項目3「自分に合った目当てを立てて学習に取り組んでいる」と回答した児童は94.1%、項目4「進んで学習に取り組んでいる」と回答した児童は94.2%と、大変高い結果を得ました。このことから、これまでは、テストの点数とは「結果」でしかなかったものが、方策を考えるための「目当て」として捉え、自分に必要な学習を選んで主体的に取り組もうとする児童が、少しずつ増えているのではないかと考えます。

2学期には、学期末だけでなく全ての単元末テストにおいて、「目標を立てる→計画を立てて取り組む→結果を分析する→取組み方を見直し改善する」といったサイクルを重ね、自分に合った目当てに基づいて自ら学ぶ児童を育成していきたいと思います。

<心ゆたかな子>

独自課題	隔月の子供アンケートにおいて、自主的な挨拶の達成度を80%以上にする。	進捗状況	5月	7月
向上目標	進んで挨拶をするよさを実感し、学校や家庭、地域の人と温かい関係をつくっていかうとする児童を増やす。		79.4%	89.7%

【結果】5月はわずかに達成できませんでしたが、7月は大幅に達成することができました。

【アンケート結果を踏まえた考察 及び 今後の取組】※関連する質問項目：5、6、7

昨年度同じ目標を掲げ取り組んだ結果、校内での挨拶の状況が大変向上したため、さらに地域の方々にも進んで挨拶する八幡っ子を目指し、同じ目標を継続しました。

結果は、5月から7月にかけて大きく達成率が上昇しました。生活委員会を中心にした挨拶運動等の取組により、全校児童の意識が高まったことが考えられます。昨年度に引き続き、下学年児童を中心に、職員室や給食室に明るい挨拶をしに来る児童も多く見られました。

一方、項目7「友達や家族、地域の人に進んで挨拶をしている」で「していない」と回答した保護者が25.8%と児童より高いことから、学校での取組が家庭や地域につながっていないことが推測されます。児童玄関では交わしても、教員不在の教室では友達に挨拶をしない児童の姿も、多く見られます。どこでも自然に挨拶できるには、相手を思いやる心の醸成や温かい人間関係づくりが大切だと考えます。2学期は、なかよし班での挨拶リレー、異学年合同での道徳科の授業、地域の施設訪問等での豊かな交流体験を通し、全ての児童が安心して生活できる学校づくり、地域との関係づくりを目指します。

<たくましい子>

独自課題	校内でのけがの発生件数を、昨年度の同時期の90%以下とする。	進捗状況	4月	5月	6月	7月
向上目標	自分の健康に関心をもち、進んで体力づくりや安全なくらしづくりに取り組む児童を増やす。		269 %	187 %	128 %	104 %

【結果】1学期は、全ての月で昨年度を上回り、達成できていません。

【アンケート結果を踏まえた考察 及び 今後の取組】※関連する質問項目：8、9、10

けがの件数を切り口とし、健康・安全なくらしを心がけ、自己管理できる八幡っ子を目指し、この目標としました。保健委員会が中心となり、学年別のけがマップを作成し、放送で紹介したり、けがが発生しやすい場所へ注意喚起のマークを掲示したりするなどの積極的な取組を行いました。

結果は1学期を通して達成できていませんが、月を追うごとに大幅に改善することができています。アンケート項目9「病気やけがのないように心がけている」児童が89.8%もいることから、様々な取組により、けがへの関心が高まっているのは間違いありません。

2学期は保健委員会の取組に加え、保健や学級活動の時間に、学校全体の状況から個人の生活に目を向け、一人一人が方策を考え実行する取組を行います。養護教諭の専門的な助言や様々なデータから、けがを減らすには、食や睡眠を整えること、進んで運動をすることが重要であると気づき、危険を予測し回避する力を身に付けてほしいと思います。

また、今年度の学校保健委員会のテーマを「けがをしない体づくり」とし、日本健康運動指導士を講師に招いて、多くの保護者の皆様の参加を呼びかけます。アンケート項目8「目当てを立て、進んで運動に取り組んでいる」と回答した保護者の割合が、児童と比べて低かったのですが、学校と家庭が連携し、学校でも家庭でも自主的に体力づくりに取り組もうとする児童の姿に繋がることを期待します。

## <富山市の共通課題>

共通課題	12月までの出席率を98.0%とする。	進捗状況	4～7月
向上目標	元気に登校し、楽しく学校生活を送る児童を増やす。		97.1%

【結果】1学期は、達成することができませんでした。

【アンケート結果を踏まえた考察 及び 今後の取組】※特に関連する質問項目：1

毎月、体調不良等の理由で欠席する児童が一定数ありました。今年度の<たくましい子>の取組により、一人一人の自己管理能力が向上することを期待します。

一方、アンケート項目1「学校が楽しい」児童の割合は94.2%と大変高く、昨年度の同時期のアンケートと比べても増加しています。アンケート項目2「授業が面白い、または内容がよく分かる」と回答した児童が94.2%いることから、楽しく過ごすことができている理由の一つには、授業が分かることもあると考えられます。2学期以降も、さらに授業改善を図り、全ての児童が分かる喜びを感じることができるよう研究を進めていきたいと思えます。さらに、アンケート項目5「自分や友達にはよいところがある」と回答した児童は100%という結果から、自分に誇りを持ち、友達と温かく関わる八幡っ子のよさを見取ることができます。このよさがさらに高まるよう、異学年交流や児童会活動の活性化を図り、全ての児童が安心して登校できる学校を目指していきます。

### 3 その他の項目について

保護者アンケート項目11「学校は、家庭と連携・協力して、子供の支援・指導に当たっている」と回答された割合は97%、項目12「学校は経営方針や学校の取組、子供の様子を適切に伝えている」と回答された割合は93.9%でした。今年度は、毎月の学年だよりに代えてホームページにて各学年の様子をお伝えする予定でしたが、なかなか更新できなかつたところもあり、大変ご迷惑をおかけしました。社会に開かれた学校として、日々の様子をこまめにお伝えし、どのご家庭にとっても連携・協力して児童を支援・指導していく存在であらねばならないと強く感じます。また、自由記述欄には、「保護者が心配していることに対し、丁寧に学校での様子を教えてくれる」「お便りやtotoruを活用し、情報を随時伝えてくれる」といった温かなお言葉を頂き、ありがとうございました。全教職員の大きな励みとなります。

### 4 最後に

8月30日(金)のスキルアップタイムに、全校児童を対象として「アクションプラン説明会」を行いました。本校で児童に対してアクションプランについて説明するのは今回が初めてであり、他校でも例が少ないのではないかと思います。これは、学校教育目標は教職員のみが目指すものではなく、保護者、地域、そして何よりも、児童自身が意識し、共に取り組んでいくものであると考えたからです。本来は4月当初に行うのがよいと思いますが、夏季休業中の研修の中でその必要性を感じ、2学期開始直後に行うこととしました。当日は、「よく考える子」「たくましい子」「心ゆたかな子」とは具体的にどんな子供か、そのためにどのように過ごしていくとよいか、といったことを子供たちに投げかけ、考えました。

今回最も有意義であったのは、各部会担当者が中心となって児童に伝える準備を進める中で、本校が目指す子供像とはどんな姿か、という本質の部分について、教職員間で十分に協議をし、改めて共通理解を図ることができたということです。この会を機会とし、子供も教職員も周囲と協働的に関わりながら、主体的に現状の課題を解決し、向上する八幡小学校を目指していききたいと思えます。

今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。